

中小企業等の「稼ぐ力」向上への支援
高齢者等貴い協同行サービスの柔軟な対応

小野 聡子
(公明党)



質問 Bizモデルを取り入れる考えは。また、中小企業給与改善奨励事業の第3弾を期待するが、実施する考えは。

答弁 本市では、まちなか経済情報センターや産業創造館で多岐にわたる相談に対応できる体制を整えているが、他自治体の事例も参考に、より効果的な支援に努めたい。また、中小企業給与改善奨励金は国の臨時交付金を財源に実施したもので、第3弾の実施については国の動向や市全体の予算を見ながら判断したい。

質問 高齢者等買物代行事業を柔軟に運用し、高齢者の買物の送迎をサポートする仕組みはできないのか。

答弁 本市の高齢者に対する移動支援は、おとしよりぐりりんタクシーを中心に地域の実情に応じた支援を継続していきたいと考えている。今後利用者への声に耳を傾け、買い物機会の増加に努めていく。

本市の環境政策
中心市街地の活性化

三島 久美子
(たかさき未来)



質問 本市が廃プラスチックの分別収集を行わない理由は。

答弁 プラスチック製品へのリサイクル施設が県内になく、運搬による環境負荷やコスト増加等を勘案し、本市では廃プラスチックのうち軟らかいものは可燃ごみとして、固いものは不燃ごみとして破碎の上焼却している。しかし、令和4年度に分別収集・資源化が努力義務となったことから、今後、コストや市民負担などを総合的に勘案し、適切なリサイクル方法を研究していく。

質問 お店ぐるりんタクシーのこれまでの成果をいかに分析し、今後の課題をどのように捉え、取り組んでいくのか。

答弁 お店ぐるりんタクシーは令和元年の運行開始以来、延べ約18万人、1日平均約100人が利用している。今後も街中回遊手段の一つとして、さらなる周知やルートの見直しを研究していきたい。

デジタル行政の推進
上信電鉄の利用増進策

荒木 征二
(たかさき未来)



質問 高校生のバス通学にマイナンバーカードを活用し、利用推進していく考えは。

答弁 令和7年度から参加予定のGunMaasにおいて、交通系ICカードとマイナンバーカードの情報をもつに付けることにより個人の属性に応じた割引サービスが提供可能となるが、マイナンバーカードが高校生という情報を持つていないため、対象範囲の在り方や財政負担等の課題を考慮し、今後より良い方法を研究していきたい。

質問 上信電鉄の利用促進策としてパーク・アンド・ライド駐車場の整備が効果的と考えるが、本市の考えは。

答弁 駐車場の整備は、駅周辺の道路整備や用地の確保など、実施のためにはさまざまな課題がある。費用対効果も踏まえ、利用者確保につながる取り組みを県や沿線市町村等と協議していきたい。

榛名地域の観光振興と課題

長壁 真樹
(新風会)



質問 榛名湖上ステージ整備の概要と今後の工事計画は。

答弁 護岸側に300人座れる観客席を整備し、湖上には可動式ステージを設置する。ロックなどの音楽イベントを中心に開催し、榛名湖畔の新たなにぎわいの創出を図る。工事日程は令和7、8年度に護岸観客席の改修、8、9年度の春先に湖上ステージと周辺整備を予定しており、9年度中にはオープニングイベントが開催できると考えている。

質問 室田地域3小学校の統合について、本市の考えは。

答弁 令和7年2月に、上室田、中室田、下室田小学校の統合に向けた要望書が市と教育委員会に提出され、今後統合に向けた検討を始めていく。統合というのは安易に規模のみで結論付けるのではなく、慎重に議論していく必要があると思うが、結論は速やかに出したいと考えている。

クビアカツヤカミツリ生態と対策

柄沢 高男
(新風会)



質問 本市でも確認されたクビアカツヤカミツリの生態は。

答弁 体長約20、40ミリメートル、胸部が赤く、体は艶のある黒色をし、繁殖力が非常に強い害虫で、サクラをはじめモモやウメなどのバラ科の樹木に寄生する。本県では平成27年に東毛地域で確認され、30年1月には特定外来生物に指定されており、全国14都府県に被害が拡大している。

質問 本市が実施している果樹に対する被害対策は。

答弁 大きな被害が確認された樹木は伐採し、粉砕処理をしており、伐採に係る処理費用の全額負担や防除対策用資機材の導入などの支援も実施している。また、果樹を守るには農家の防除意識、防除活動が最も重要となるため、令和6年8月に市と果樹生産団体で組織する対策協議会を設立した。今後も県やJAなどと連携し、適切に対応したい。

委員会審査

各常任委員会および各特別委員会において、付託された議案などを審査しました。質疑、答弁の一部を掲載します。

総務常任委員会

質疑 令和7年度から運営を開始する伝統文化の館の運営方針は。

答弁 華道、茶道、邦楽など、日本文化の活動の場として活用する予定で、高崎市文化協会加盟団体を中心とした団体による利用を考えている。開館日は水曜日から日曜日までの週5日で、職員は嘱託職員と臨時職員を計5人配置し、開館日には1人常駐する予定である。

市民経済常任委員会

質疑 市内循環バスぐるりと高崎アリーナシャトルバスに係る予算を減額した理由と、運行ダイヤ改正の内容は。

答弁 労働基準の改正や運転手不足に対応するため、利用者の少ない時間帯の減便を実施することに伴う減額である。また、アリーナシャトルについては午前8時から午後8時の間、高崎駅西口を40分間隔で発車する運行計画とする。

子育て支援・定住人口増加対策特別委員会

質疑 本市の里親の人数と登録状況は。

答弁 里親登録数は42世帯で、前年より5世帯増加している。登録数が多いほど里親への委託率が高くなる傾向にあるため、本市の児童相談所開所後には登録数を増やしていけるよう努めたい。

教育福祉常任委員会

質疑 民間プール施設利用委託料の内容は。

答弁 プール施設が老朽化している学校のうち、維持管理費および改修費の縮減が見込める学校を対象に、学校生活に支障がない移動距離に立地する民間のスイミングスクールを利用し、水泳の授業を行うもので、監視員1人の配置や送迎バスの利用も想定している。また、対象の学校は4、5校程度を想定しており、これから選定していく。

建設水道常任委員会

質疑 雨水対策工事の内容は。

答弁 令和7年度は、倉賀野町、中豊岡町、箕郷町上芝において排水路の整備工事、京目町において水門の改築工事などを予定している。

質疑 レストハウス建設工事の今後の予定は。

答弁 現在、歩道橋の接続工事に関わる国土交通省との協議、工事の発注をしており、本体工事は令和8年度以降の着手を目指している。

都市集客施設整備特別委員会

質疑 再開発事業文化財発掘経費の概要は。

答弁 発掘調査を行う場所は高松町にある西部児童相談所の西側の土地で、栄町の再開発事業の地権者である高崎年金事務所が当該地に移転したい意向があるため、調査を実施するものである。